

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成19年9月12日(水) 19:30～20:40
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町4番3号 特定非営利活動法人ディ会議室
- 3 出席委員 委員総数 8名
出席委員数 7名
出席委員の氏名 西平功／重信千代乃／越間誠／大久保惣市／
望月信悟／高良俊礼／中村瑞希
欠席委員の氏名 山田通央
放送事業者側出席者名 麓憲吾／丸田泰史／水間由里子／中原優子／
嘉川孝之／小野健太郎

4 議題

- (1) 「読みむんマンディ」について
- (2) 奄美まつり中継について
- (3) 一般聴取者の意見、要望等
- (4) その他

5 議事の概要

「読みむんマンディ」(＝読みものいっぱい)

月曜～土曜毎朝5分～7分程度の帯番組。各曜日ごとにテーマを変え、それぞれボランティアの語り手により読みものを全文朗読で紹介している。このコーナーについて各曜日から1つずつサンプルを聞き、意見を伺ったところ、主に放送時間帯の見直しについて提案があった。

また、地元の再大規模の祭りである「奄美まつり」中継について伺ったところ、臨場感のある放送が好評であり、今後も試みていく方針となった。

一般聴取者からの意見では、番組を充実させる上で参考になるものがいくつかあり、今後どのように実行していくかが課題として残った。

その他、午後9時～10時で毎日放送されている「サウンドウシー」(地元ミュージシャンが日替わりで企画出演する番組)について意見があり、局での対応状況を報告した。

6 審議内容

- (1) 「読みむんマンディ」について

放送局よりコーナーの説明があり、実際に各曜日のサンプルを聞き、意見を伺った。

曜日	内容	読み手
月	「奄美今昔よもやま話」から伝説など	南 武一さん
火	「ネリヤカナヤ創作童話コンクール」から優秀作品	岡 登美江さん
水	島の昔話や島行事に関するおはなし	隈元 博子さん
木	奄美群島児童生徒による作文集「あまみ」より優秀作品	田畑 頼子さん
金	県立図書館奄美分館からのお知らせ・新刊紹介など	國田 陽子さん
土	幼児・児童向けのおはなし	原 恵子さん

大久保委員

それぞれ特色があり、水曜の隈元さんは直にそこでお話をして頂いている様な雰囲気、金曜の図書館紹介も知りたい情報を伝えてくれているが、皆バタバタしている時間帯なので、昼の学校給食時間帯に放送したほうがいいのでは。じっくり聞きたいという気にさせられるので、もったいない。

中村委員

読み手の年代が、月一木が年配の人、金土は若手なので、入れ替えてもいいと思う。

笠利は電波の状態が悪く聞きにくいので、名瀬に出ている事の多い夕方に聞けたらありがたい。

望月委員

島の方で出版されている方に、自分の本を解説ないし朗読していただけたらと思います。

-放送局 水間

読み手の岡さんは同人誌「くっかる」などの編纂に関わっている方で、いずれ実現したいと思う。

高良委員

お年寄りの豊富な知識、経験、島に住む人間すらも知らなかった琉球支配の頃の話など、興味深く聞き入ってしまった。子供たちの作品も思った以上にすごい。時間はやはり3時〜4時位が、下校して親と一緒に聞けるのでは。祖父母達とのコミュニケーションツールにもなるんじゃないか。この番組は、子供たちに島のことを教える教養番組なのか、読み物に親しんでもらう番組なのか。読み物としての番組であれば、島で創作活動をしている方の紹介を入れても面白いし、また島の昔話など教養に限定するのであれば、奄美にちなんだお年寄りの話などに絞ったものと2つに分けても面白いし（自分でもまだ整理がついていないが）逆にもっとミックスしても面白いと思う。

越間委員

面白い試みだ。あえて苦言を言うのであれば、語り手のクオリティにバラつきがあると思う。

また「奄美よもやま話」について、素晴らしい本ではあるが、中には歴史研究などで一般的に言われているのとは少し違った表現があって気になった。

ターゲットをどこに向けているのか、できるだけ多くの人に、また聞くのにふさわしい時間を選んで一午前と午後、2回あってもいいと思う一子供に聞かせるのか、大人に聞かせるのか、また昔話などはできれば島口で語ってもらったほうが、祖父母が子供に語り聞かせた事の再現になるのでは。

重信委員

色々なジャンルの物を発表していいと思う。先程出た、地元の人が創作したものを声に出して発表する機会は少ないと思う。ぜひ実現させてほしい。

土曜日は幼児／児童向けの話ということで、お休みの時を選んでいるのかなという気がしたが、やはり時間の工夫は必要。奄美パークに島口で民話を語るコーナーがあるが、そういうコーナーがあってもいいと思う。

土曜日の原さんはどなたですか？

-放送局 麓

Iターンで、もともと声優の勉強をしていた事のある方です。

重信委員

とても上手ですね。金曜日の大島高校の学生さんもとても上手でした。

西平委員長

お願いできれば、抑揚や速さ等、放送に乗りやすい語り方のアドバイスをして、質を上げていってほしい。また書き言葉を読む場合は、語り言葉に変えてはどうか。

また、朝のラジオは時計がわりに使うので、5分〜7分という流動的なコーナー時間は厳しい。

-放送局 中原

放送時間は色々で、隈元さんは本を読まず、自分の知っているお話を語るなので、3分位で終わってしまう時もあるが仕方ないかと思う。作品には長いものもあるが「続く」だと、また次週になってしまうので、使える作品も限定されている。「文集あまみ」では長さは決まって、ちょうど5分程度で収まるが、「ネリヤカナヤ」では高校生等の長い作品だと紹介できていないのが現状。

越間委員

短い場合は語り手自身がその話を聞いたときの状況を探って、つけたしてもいいかもしれない。

-放送局 中原

島口でお話をして下さる方に関して、ご存知でしたら教えて下さい。

ボランティアの方々に快くご協力頂いて制作をしているが、もっと沢山の方に参加して頂きたい。

越間委員

島口の場合は貴重な資料になる。数年前に島の昔話を全て方言でしゃべってもらい収録したが、普段は方言で会話してるのにも関わらず、撮影では緊張して標準語が挟まる。仕方がなくそのまま録った物もある。

-放送局 中原

自分達でもマイクの前では緊張するので、ボランティアの方にどこまで求めるのかは厳しい。

重信委員

(ボランティア候補として) 奄美パークのお話は井口さんですね。

(2) 奄美まつり中継について

-放送局 丸田

今回初の試みで、花火、パレードなど現場から中継を行ったが、聴取者から賛否両論の意見が挙がっている。皆さんのご意見を伺いたい。

西平委員長

非常にいい。舟こぎ中継については特にリアルタイムでの放送が良かった。賛否の否の部分はどんなものか。

-放送局 麓

奄美市観光課からの依頼もあり、花火会場では例年通り、花火の合間にアナウンスをし、会場内のスピーカーで放送した。同時に、花火が打ち上がっている間も駐車場のアナウンスや、花火の説明などを少しずつ挟み、ラジオに限定して放送していたはずの内容について、来場者から1通、じっくり花火を見たい時に迷惑だという猛烈な苦情があった。近くでラジオを聞いていた、また青果市場で流していた等の可能性を考えている。

西平委員、高良委員

交通規制の情報などは有益な情報だと思う。

大久保委員

内容のことではなくて、騒音としてとらえているのだろう。

越間委員

理不尽な事を言う人もいるので、無視をしろという訳ではないが、心に置きながら、いかにクレームを出さないように皆に喜ばれるかを目指してほしい。

西平委員

ラジオは内容が嫌いなら消せばいいが、強制的に聞かせる場合は慎重になったほうがいい。

-放送局 麓

パレードに関しては、例年は（街頭スピーカーで）本部席から見た情報のみだったのが、屋仁川のディ！のスタジオ前の情報や、表に出て、お客さんの声も放送した。

高良委員

中継は聞いていて気持ちが揚がる。

西平委員

見にはいなくても、皆でこの祭りに参加しているような感じがする。

(3) 一般聴取者の意見、要望等

- ・ 船便案内で、現状よりも詳細な案内の提案(船舶会社より)

望月委員：一般の観光客が島経由で動くには有益な情報だ

西平委員長：ラジオは窓口みたいなもので、詳しい事は〇〇へ、という風にしたいほうがいい

中村委員：問い合わせ先がわかると助かる

高良委員：詳しい情報先に誘導してあげる形がいいと思う

- ・ 音楽番組に関して

「昼間、音楽番組だけではなくトークが欲しい」「島唄の番組で曲紹介をしてほしい」「もう少し古い世代の曲が聞きたい」等聴取者より提案があった。

高良委員

音楽番組は、特にサウンドゥシー（地元ミュージシャンによる企画制作番組）について、何故か自分の所に苦情が来る。プレゼンする側の意識をもう少し高める必要があるかと思う。ガヤガヤした感じを聞き辛く感じている人が多い。また内地からミュージシャンが来る時「こんな所がすごくいいので、聞いてみて下さい」という様に、もう少し掘り下げて紹介をという意見があった。改善すべき点は、プレゼンする側の「僕はこういう事を一生懸命頑張っています」「こういういい曲があるので聞いてください」といった意識を高める必要があるのかなと個人的にも思う。強烈に批判的な口調で来る方もいる。せっかく音楽を聴きたいのに居酒屋でしゃべっているような話は聞きたくない、という様な意見が、40代から上の方々から上がっている。

-放送局 麓

地元ミュージシャンの企画枠で、30日・30組埋まっているのはいい事だが、どう発信しているか、まだ分かっていないと感じる。先日から、出演者の人数が多すぎて聞き辛い等クレームを出演者に通知し指導をしているので、今月は少し改善されているのではないかと思う。住民参加型という事で素人が参加しているが、間に入る自分達が質を上げていく努力が必要と感じる。

西平委員

映像はある程度誰が話しているか解るが、音は難しい。早口だと高齢者が聞けないかもしれない。

高良委員

1ー2人でやっていて聞きやすくネタも豊富な人達の番組をレギュラーにして、「やってもいいよ」位のノリの人達は、細かいスタンスで変えればいいのか。軸になる番組が3つ位あれば皆それを聞くので、番組そのもののファンも増えるのでは、という建設的な提案もあった。

-放送局 麓

30組の中でも本当に意欲的な人達もいるので、10月を基軸に改変を考えている。

西平委員

繰り返すことで聴取者の質も上がっていき、過渡期ではあるが、あまりガチガチにすると解放区みたいな部分が行儀良くなっても困るので、微妙な所ではある。

-放送局 麓

深夜番組のやんちゃな感じを出したかったが、思った以上だったので困っている感じだ。

・「朝のラジオは時計代わりに使っているので、きっちりと時間を決めて進行して欲しい」

-放送局 中原

時間を意識した進行を心がけていきたい。

(4) その他

望月委員

新潟の放送が聞こえる時があった。何かの間違いと思いラジオを切ってしまったが、原因は。

-放送局 麓

5ー8月位に起こる現象で、地球の電離層の関係で遠くのFM放送が飛んでくることがある。新潟FMが同じ77.5MHzで1kwで飛ばしているが、ちょうどはね返って落ちてきた場所が奄美大島。開局前の調査では時期がずれていたため分からなかったが、営業的にも致命的ではある。

中村委員

車に乗って聞いている時に、カーラジオの表示が「FM新潟」と出ていたので驚いた。

重信委員

台風、落雷など災害時の対応は。

-放送局 麓

UPS装置で30ー40分維持し、発電機も準備している。先日の台風4号の停電時にも稼働した。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日 なし

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

(日) 自社放送：平成19年9月22日（土曜日）17:30ー「ゆふいニングアワー」番組内で放送

(月) 書面の備置き：平成19年9月22日（土曜日）から、当該事項を記載した書面（議事録）を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応

(火) インターネット：平成19年9月22日（土曜日）より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし